

1945年10月16日に国連食糧農業機関（FAO）が設立されたことを記念して、世界の食料問題を考える日として制定されました。飢饉や健康的な食料の確保について考え、行動することを促す記念日です。世界の人々が協力し、世界中で起きている栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことが目的です。

日本では

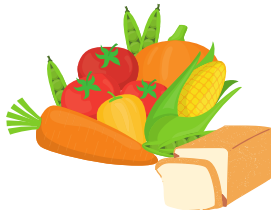
・1年間で食べられるにもかかわらず捨てられている食品は約**522万トン**（2022年）。食品ロスが課題になってから年々減少していますが、解決にはほど遠い数字です。

食品ロスの中身

お店では：売れ残りや返品、飲食店での食べ残し、売り物にならない規格外の農産物や加工品

家庭では：料理の作りすぎ、皮の剥きすぎ、買いすぎなどがあります。

食料問題



世界では

・先進国で食べられる食品が年間13億トン廃棄される一方、約**8億2800万人**（2021年）が必要な食糧を得ることができていません。

・飢餓に苦しむ人々のほとんどは開発途上国に住んでおり、食糧を買うための十分な収入が得られていません。

・**温暖化**の影響により、自然に頼った農業を行う農家は大きなダメージを受けています。

・農作物の価格は、収穫量のほか国際市場の変動に影響されます。

SDGs日本の目標

2030年までに食品ロスを事業系、家庭系ともに2000年比50%減を目標にしています。

2000年の食品ロス

事業系：547万t

家庭系：433万t

主な対策

賞味期限や納品期限の見直し、持ち帰りの促進、フードドライブの活用など

やってみよう！

Let's Try !

地球上には、すべての人々が健康で生産的な生活を送るために必要な栄養素を摂取できる十分な食料があります。

食料を無駄にせず、みんなが満足に食べられるようにするにはどうしたらよいだろう？

世界食料デーに考えてみよう！

十分な食糧が得られないと

必要な栄養が足りず、頻繁に感染症や疾病にかかってしまい、はしかや下痢のような一般的な感染症によって命を奪われることもあります。

参考URL

hunger free world 世界の飢餓と私の食
<http://www.hungerfree.net/hunger/>

農林水産省 食品ロス・食品リサイクル
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

もっと国際デー！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！



FTCJ 活動ヒント

検索

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。

